

情報通信技術教育者 合同会議2012 開催報告書

2012年10月13日(土)
東京大学本郷キャンパス
工学部2号館

主催：ICT教育推進協議会
後援：経済産業省・総務省

開催概要

【主催者挨拶】

ICT教育推進協議会は、ICT教育に携わる先生方が社会・産業界の要請に適合した人材を育成していくための一助となるような活動を行うべく、人材の受け皿となる産業界と、人材を育成する教育界の掛け橋となるよう、2010年4月1日に発足し、活動を行ってきました。

その中で、2011年3月11日に起こりました東日本大震災は、改めて21世紀がICTシステムの存在を前提としており、ICTシステムの継続的進化が社会・産業にとって必須のことであることを認識させてくれました。ICTシステムの存在を前提とした、ICTネイティブな社会・産業基盤の構築と捉えることはできるでしょう。一方で、引きこもりの傾向にあった、我が国の産業界は、ここ数年、急激にグローバル市場への進出を、その成長戦略の核となる施策とする傾向が進展しているように思えます。市場としての海外だけではなく、企業活動を支える拠点のグローバル化が急速に進展しています。このような20世紀とは異なる新しい21世紀の社会・産業活動を支えるICTシステムを支えることができる21世紀の人材を我々は育成し、産業界ならびに社会に供給しなければなりません。このような認識の下、情報通信技術教育者合同会議2012では、第3回目の合同会議として、6つの分科会と協議会の企画による皆様への活動報告も兼ねた、講演会やパネルディスカッション、ハンズオンセッションを行います。

ICT教育に携わる方々に向け、最新情報の提供や、産学の交流の場を醸成できるよう、プログラムを企画いたしました。皆様の積極的なご参加を期待いたしております。

ICT教育推進協議会会長
江崎 浩



【開催概要】

名称	情報通信技術教育者合同会議2012 (英文名: ICT Educators Summit 2012, 略称ictes2012)
会期	2012年10月13日(土)09:30~18:00(懇親会18:00~19:30)
主催	ICT教育推進協議会(ICTEPC)
後援	経済産業省、総務省
会場	東京大学本郷キャンパス工学部2号館 東京都文京区本郷7-3-1 東京メトロ丸の内線・都営地下鉄大江戸線 本郷三丁目駅より徒歩15分、南北線 東大前駅より徒歩10分、 千代田線根津駅より徒歩10分
来場参加費	無料
参加者数	合計223名(一般参加者58名、関係者45名、遠隔視聴者120名)
公式Webサイト	http://ictepc.jp/ictes2012/

お問い合わせ先 ICT教育推進協議会事務局

プログラム

【プログラム詳細】

・パネルディスカッション 「新卒入社1年目を終えて」

平成23年度入社の新卒エンジニアが入社後 戸惑ったこと、困ったこと、達成感を味わったこと、感動したことや学生時代に経験しておいたほうが良かった事、重点的に学習し、習得しておけばよかった事などについて 先輩エンジニアからのアドバイス、意見を交えながら入社後一年を振り返ります。

そして、新卒採用をする企業側と学生、教育者がそれぞれ今後どういう部分をケアしたほうがよいか、どういうアクションをするべきかなどを議論します。



伊勢 幸一氏(モデレータ)
株式会社データホテル
情報環境技術研究室執行役員室長/
ネットワーク教育WG主査



中村 俊介氏(パネリスト)
NHN Japan株式会社
ウェブサービス本部開発一室



阿部 洸樹氏(パネリスト)
デジタルテクノロジー株式会社
技術部システム一課



廣田 拓也氏(パネリスト)
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ
株式会社
クラウドサービス部ホスティング
&プラットフォームサービス部門



中地 勇伍氏(パネリスト)
GMOクラウド株式会社
技術部DH技術セクション

・講演 「小学校現場でのICT活用～図画工作とICTの相性は抜群～」

子どもの製作ツールというよりは、コミュニケーションツールとしてのICT機器の魅力を感じています。一例として、私の授業では子どもたちがデジカメで写真をどんどん撮ります。Eye-Fi機器との連携で、瞬時に画像が拡大表示されます。「すごい」「そういう考えもあったか」教師に教わるだけでなく、仲間と学び合える空間が広がります。指示待ちでない能動的な人間が育ちます。そういう教育が必要ですよね、今の日本。電子黒板、電子教科書、appleTVなどの活用例も紹介します。



武井 克明氏(司会)
株式会社パワープレイ 代表取締役/
初等中等教育WG副査



北川 智久氏(講演者)
筑波大学附属小学校
図画工作部教員/
初等中等教育WGメンバー

プログラム

・パネルディスカッション

多様化する日本企業の採用戦略 「新卒一括採用廃止の先に待っているのは？」

この数年間で、日本社会において「グローバル」というキーワードに接する機会が多くなりました。外国籍人材への期待、秋入学への移行、新卒一括採用廃止の検討など従来の日本独特の就職のあり方がグローバル化の波に乗り、崩れ始めています。社内の国際化、事業のグローバル化を支える様々な人材が要求される中、崩れ始めています。本セッションでは日本企業の採用戦略の現状と今後の展望を探ります。



山口 英氏(モデレータ)
奈良先端科学技術大学院大学
情報科学研究科教授/
ICT教育推進協議会運営委員
兼国際化対応WG主査



樋川 信哉氏(パネリスト)
ネットワンシステムズ株式会社
業務管理グループ人財開発本部
人財開発部人財開発チーム
チームリーダー



山下 達也氏(パネリスト)
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ
株式会社
先端IPアーキテクチャセンタ所長



長部 謙司氏(パネリスト)
シスコシステムズ合同会社
プログラムマネージャ/
ICT教育推進協議会事務局長

プログラム

・パネルディスカッション

「女性にとって働きやすいIT企業の現場とは？」～就活へのエッセンス～

IT企業では、多くの女性が働き、働く楽しさを実感しています。よく、IT企業では女性が定着しないと言われていますが、そのような悲惨な状況ではありません。このようなギャップは、IT企業への就労を考える女性やサポートする教育現場が、実情をしっかりと認識できていないからと思われる。本セッションでは、IT企業で働く方々をお招きして現状を語っていただき、IT企業に女性は不可欠であるということをお伝えしていきます。



岡 邦子氏(モデレータ)
シスコシステムズ合同会社
トレーニングビジネス開発
マーケティングマネージャー/
女性エンジニア育成・サポート
WGメンバー



高橋 侑子氏(パネリスト)
株式会社ラック JSOC



乾 喜一郎氏(パネリスト)
株式会社リクルートライフスタイル
『稼げる資格』編集長



荒井 秀和氏(パネリスト)
株式会社イーサイド
代表取締役社長

・基調講演 「ICT利活用の進展と期待される人材像」

ICTは進化のスピードをますます速めています。それに伴い、その利活用も、従来あまり進んでいなかった分野へと広がりを見せています。このようなICT自体およびそれを取り巻く環境の変化の中で、今後どのようなICT人材像が必要とされるかを、富士通の人材育成のご紹介を含め、お話したいと思います。



石田 一雄氏(講演者)
富士通株式会社 技術顧問

プログラム

・ICTEPCパネルディスカッション

「企業が教育機関に期待するネットワークエンジニア育成について」

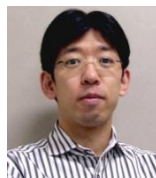
各学校のネットワークエンジニア育成の取り組みを企業の方に確認して頂き、企業が求めるネットワークエンジニアの基本スキル、資格、能力についてディスカッションを行います。ネットワーク教育だけでなく、企業が求めるスキル(問題解決能力、コミュニケーションスキル、ヒューマンスキル、プレゼン能力)を踏まえながら、教育現場でどのような取り組みに重点を置くべきかについて、意見を交換し、今後のネットワークエンジニア育成の教育に反映させて行きたいと考えます。ディスカッションの最後にまとめを行い発表したいと思います。



山口 雅樹氏(モデレータ)
大阪情報コンピュータ専門学校
情報メディアセンター長/
ICT教育推進協議会運営委員



北原 聡氏(パネリスト)
麻生情報ビジネス専門学校
コンピュータネットワーク科講師/
ICT教育推進協議会運営員



中山 貴夫氏
京都女子大学
現代社会学部講師



下村 正洋氏(パネリスト)
株式会社ディアイティ
代表取締役社長/
NPO日本ネットワークセキュリティ協会
理事・事務局長



鈴木 貴実氏(パネリスト)
株式会社
インターネットイニシアティブ
人事部採用研修課課長

プログラム

・特別講演(1)

「インターネットスキルの育成と評価～インターネット検定「.com Master」の活用～」

インターネットが世の中の基盤となり、仕事も生活も大きく依存するようになった今日、そのためのスキルの向上と評価は、企業においても人材活用上必須となっています。スキルといっても社会人として最低限必要なレベルから専門的なレベルまで幅広く、また分野も多岐に亘ります。

早くからインターネットスキルの重要性に着眼したNTTコミュニケーションズでは、これを体系化し、測定する仕組みとしてインターネット検定「ドットコムマスター」を2001年にスタートさせ、これまで大きく発展させてまいりました。これらの取り組みの現状と、インターネット検定の活用についてお話します。



鈴木 聡介氏(講演者)
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
先端IPアーキテクチャセンタ担当課長

・特別講演(2)

「モバイルシステム技術検定制度の紹介」

スマートフォンやタブレット端末など急速に市場拡大しており本格的なモバイル時代を迎えています。MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム)では多様化する市場ニーズに応え、

モバイルシステム技術に対応できる技術者層を拡大し、更に最新の技術水準の確保のため「モバイルシステム技術検定」制度を推進しています。これらの制度について紹介します。



田島 正興氏(講演者)
MCPCモバイルコンピューティング推進コンソーシアム
MCPC検定事務局主査/
モバイルWGメンバー

会場内風景

【オープニングセッション】



【パネルディスカッション】「新卒入社1年目を終えて」



【講演】「小学校現場でのICT活用～図画工作とICTの相性は抜群～」



会場内風景

【パネルディスカッション】

多様化する日本企業の採用戦略「新卒一括採用廃止の先に待っているのは？」



【パネルディスカッション】

「女性にとって働きやすいIT企業の現場とは？」～就活へのエッセンス～



【基調講演】「ICT利活用の進展と期待される人材像」



会場内風景

【ICTEPCパネルディスカッション】

「企業が教育機関に期待するネットワークエンジニア育成について」



【特別講演(1)】

「インターネットスキルの育成と評価～インターネット検定「.com Master」の活用～」



【特別講演(2)】「モバイルシステム技術検定制度の紹介」



ICT教育推進協議会 功労賞

ICT教育推進協議会功労賞は、過去1年間で最も協議会の活動の推進に貢献した組織ないし個人に贈られる賞です。今年は、以下の2個人に贈れました。

・山口 雅樹殿(大阪情報コンピュータ専門学校)

貴殿は、当協議会運営委員の一員として積極的にICT教育推進協議会の活動に参加し、協議会の活性化に大きく貢献いたしました。ここに、その貢献と功績に敬意を表し、「ICT教育推進協議会 功労賞」を授与し、ますますの活躍と貢献を期待いたします。



・大野 雅弘殿

貴殿は、モバイルワーキンググループの初代主査として、多数の産学連携の活動を牽引いたしました。ここに、その貢献と功績に敬意を表し、「ICT教育推進協議会 功労賞」を授与し、ますますの活躍と貢献を期待いたします。



協賛・協力・後援

・協賛

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社



MCPCモバイルコンピューティング推進コンソーシアム

MCPC

・撮影協力

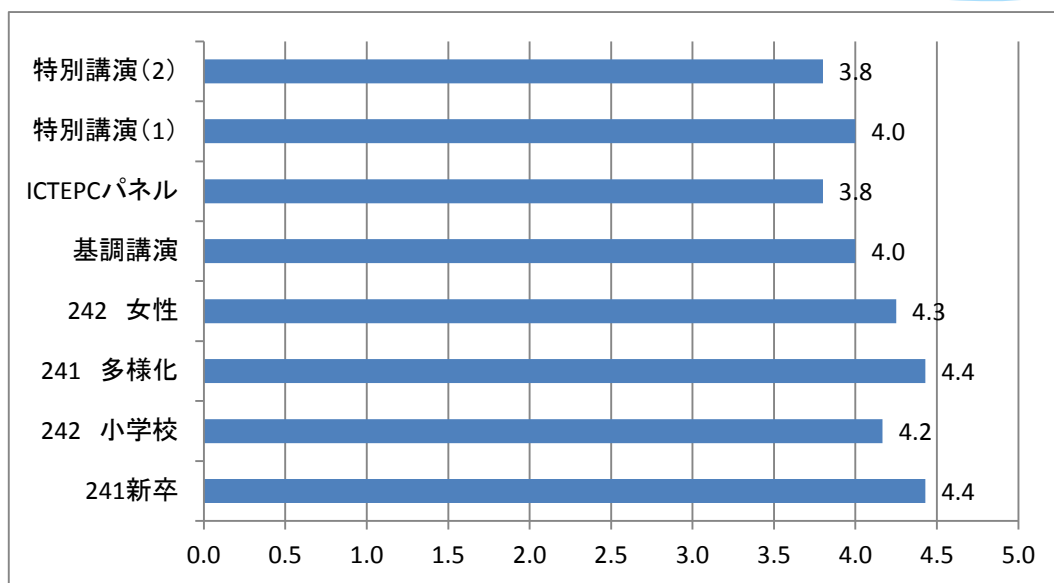
モバイルWG有志

・後援

経済産業省・総務省

参加者アンケート結果

(参加セッション満足度)



特別講演(2) 「モバイルシステム技術検定制度の紹介」

特別講演(1) 「インターネットスキルの育成と評価～インターネット検定
「.com Master」の活用～」

ICTEPCパネル 「企業が教育機関に期待するネットワークエンジニア育成について」

基調講演 「ICT利活用の進展と期待される人材像」

女性 「女性にとって働きやすいIT企業の現場とは？」
～就活へのエッセンス～

多様化 多様化する日本企業の採用戦略「新卒一括採用廃止の先に待っているのは？」

小学校 「小学校現場でのICT活用～図画工作とICTの相性は抜群～」

新卒 「新卒入社1年目を終えて」

参加者アンケート結果

(プログラム内容について)

- 大学における情報通信技術育成教育の中で何を教えるべきかは、その大枠は理解できました。次はその実践方法考えます。
- 医療や行政でのICTの利用ケースについてプログラム内容でもよいのでお聞きしたかった。
- 大学、専門学校、企業の方が集まるととても貴重な会合です。今後も継続してほしいです。
- 活用についてももう少し内容があるといいと思います。
- 今回は企業が学校側に求める人材、学校側の現状について色々な話が聞かれたので大いに参考になった。
- テーマは良かったと思うが、ディスカッションの機会が少ないと感じられて。
- ディスカッションが多くて良いですが、もっとパネリストのプレゼンよりも議論の時間を増やして欲しいです。
- もっと学生が参加してもよい会ではないかと思います。
- 「企業が教育機関に…」のプログラムの学校紹介の時間が長すぎだと思います。
- 「新卒入社1年目を終えて」と「企業が教育機関に期待する、…」の下村氏の発言がとても参考になった。
- NTTcom山下さんのお話が興味深かったです。

(次回開催時に取り上げてほしいテーマについて)

- 「新卒入社1年目を終えて」「女性にとって働きやすいIT企業の現場とは？」は業界転種を変えて同じテーマでも関心があります。
- 「医療」「行政」といった機関でのICTの利用ケースをテーマとして取り上げて欲しいと思います。
- Good Teacherによる模範授業などはいかがでしょう。また、運営が大変なのは知っていますが、ハンズオンセッションもあるといいですね。
- 医療とICT。自転車とICT。
- ICT業界だけでなく、農業や漁業の分野でもICTの人材が必要だという話が出れば面白かった。
- 日本のICT教育をどう発展させれるか、政策的な面から議論できないものでしょうか。
- クラウドコンピューティング。スマートコミュニティ。
- セキュリティ。クラウド。
- 特別講演 (i) のインターネットに関する実践的なスキル 単独化してもう一度聞きたいです。
- グローバル人材の活動が期待される具体的な世界とその人材育成方法、教授法。
- 企業が求める人材像はわかったので、次は企業が学校に望む「教育してほしい内容、スキル」について聞きたい。
- 企業から学校教育に対してとどんどん意見、要望を言ってもらえるような内容のテーマをお願いしたいです。

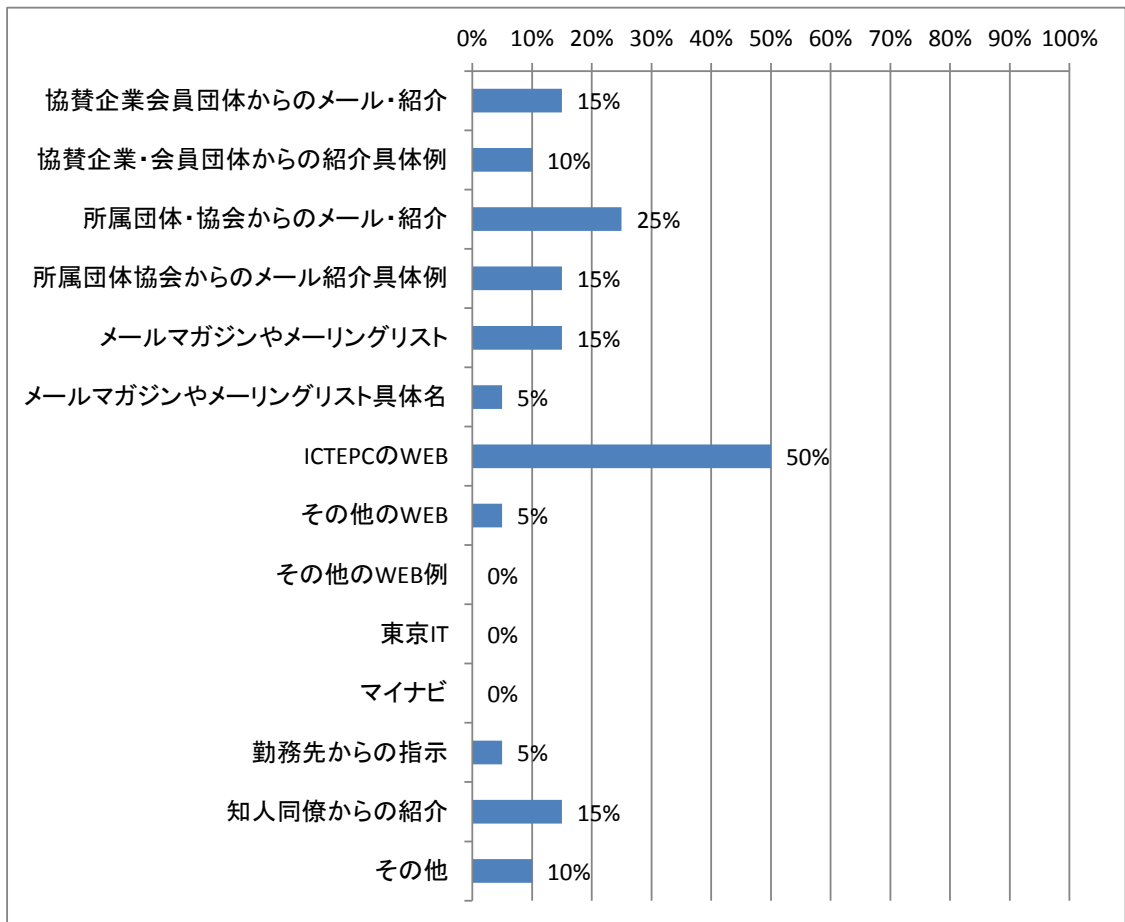
参加者アンケート結果

(全般についての意見・感想)

- 全てのテーマについて「いねむり」せずに集中して聞く事ができました。それだけ、いいテーマであったと思っております。ありがとうございました。
- 昨年に続き参加させて頂きました。企画、運営有りがとうございます。
- プログラム時間の長さが適度でよかったです。
- 来年も(参加出来れば)参加したいです。
- もっと現役の学生が多数参加できるようなプログラムにできると良いですね。
- 内容等はとても面白かった。勉強になる点は多かった。来場者の数が少ない印象をもった。もっと広報すれば良いと感じる。

(参加のきっかけ)

・設門

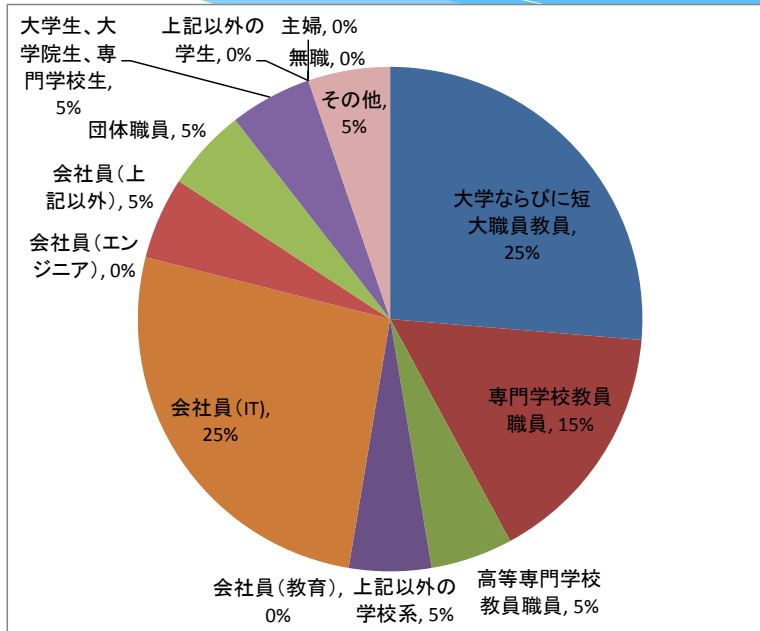


参加者アンケート結果

(参加者属性)

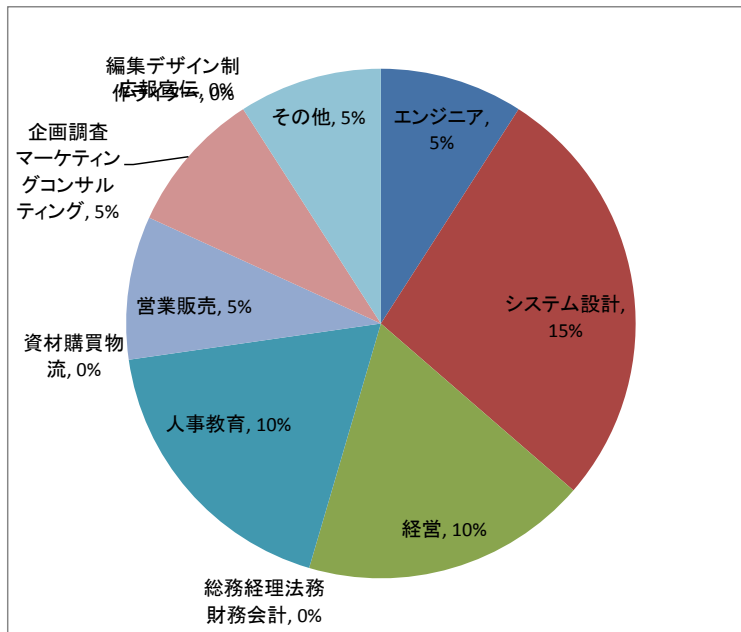
・設門

参加者ご本人につきましてお聞かせください。当てはまるものに○印をお願いします。



・設門

上記で会社員とお答えになった方は、職種をお聞かせください。



本報告書に関するお問い合わせ先:

ICT教育推進協議会事務局

〒113-8656東京都文京区本郷7-3-1東京大学大学院情報理工学系研究科江崎研究室内

Email:info@ictepc.jp 情報通信技術教育者合同会議2012 <http://ictepc.jp/ictes2012/>